

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

# 北大和小だより 7月号

令和3年6月30日  
大和市立北大和小学校  
〒242-0001 大和市下鶴間685  
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kiita/>



## 「グリーンカード」

昨年来、残念ながら全校生徒が集まって行われる学校朝会というものができません。始業式・終業式を含め、各教室で行われるビデオ視聴による集会行事を実施しております。

さて、先日、ビデオ放送で全校向けに話をする機会がありました。話題は「グリーンカード」というものです。サッカーの審判が「イエローカード」と「レッドカード」を胸のポケットに持っていることは周知のことと思います。昨今、少年少女のサッカー大会では審判がもう一枚のカード「グリーンカード」を持っているということに基づいた話です。

審判は安全にスムーズに進行しフェアプレーの見られるよいゲームとなるよう、時には厳格に、時には笑顔でゲームを見守るのが役目です。選手が怪我をするような危険なプレー、試合の進行を著しく妨げるような行いに対しては厳格に「レッドカード」で退場を命じます。

反則の繰り返しや、怪我につながる危険なプレーについては「イエローカード」で警告します。「イエローカード」が2枚で「レッドカード」に相当し退場となります。

家庭や学校生活の中でも「相手を傷つける危険でひどいこと」暴力・いじめ・物盗りは「レッドカード」、そして、反則を繰り返す・危険なことをする・相手をバカにすることは「イエローカード」と言えます。時には厳格に、時には諭しながら大人が子供たちに伝える必要があります。

しかしながら、「グリーンカード」の趣旨としては、本来の「安全にスムーズに進行しフェアプレーの見られるよいゲームにする」という目的を選手にも考えてほしいということにあり、「ダメ」「ダメ」「それダメ」とダメ出しをするより、気持ちよく過ごすという目的のために、今の行動は「いいね」「いいよ」ということを積極的に伝えようということになります。

学校教育目標に「お互いを認め合う子」があります。キーワードを「いいね」と置き換えて発信しています。相手のことも自分のことも「グリーンカード」の考えで「いいね」を見つけられる子に育てたいものです。

是非、私たち大人が団結して「グリーンカード」を子供たちに示していきましょう。 校長

### 【交通事故に要注意】

本校の学区は町田や相模原への交通の往来が大変多い場所です。路地にも抜け道を求めて多くの通行が見られます。過去に児童の死亡事故もあった学区として注意を喚起していく必要があります。特に夏休みに向けて行動範囲も広がる季節に入ります。ご注意ください。

○歩いている時： 慌てて横断すること、角から飛び出すこと、車を見ないこと

○自転車に乗る時： 確認なく飛び出すこと、並走すること、歩行者に近づくこと

※本校では上記の状況から「ランドセルで守れる命がある」とし、原則としてランドセル登校を大切にしています。教科書のいわゆる「置き勉」、熱中症対策とともに並行していきます。